

菩提樹

平成29年度 第8号 12月15日発行

「覚え」の3題



【覚えの1】

分からないことや悩みを匿名で入れておくと全国から匿名のアドバイスが来るサイトがあります。そこに中学生から質問がありました。「学校でシンギュラリティについて習ったのでもう少し詳しく教えてください」何々、人気のテレビ番組ではありませんが「初耳!」。調べてみると「人工知能がより優れた知能や発明を自分で作るようになり、トータルで人間を越える日」だそうです。その日が2045年に来るというまことしやかな予言まで飛び交っています。

本校伝統の「俳句づくり」でも子供たちのライバルが出てきました。人工知能に写真を見せて俳句を詠ませる取組があるそうです。ある言葉でイメージする写真を一般から募集して集め、片っ端から覚えさせていくのだとか。「鹿」「もみじ」の写真だけでも瞬時に数万枚の情景を思い浮かべ、あっという間に数千句を作る「俳人」を育てるそうです。できた作品はまだ傑作とは言えませんが、児童の作品と比べてもある程度の力があり、俳句作りに覚えの人間も油断できません。



【覚えの2】

中学生の頃、どうしても勉強がかなわない同級生がいました。私が「おまえいいなあ、秀才頭で、英単語なんか見たら一発で覚えちゃうんだろ」と言うと彼はこう答えました「発音しながらていねいにノートに書いて、20回書いても覚えられないの?」と。その時ひどく恥ずかしかったのを覚えています。彼は得意科目でも人一倍の努力をしていたのでした。そもそも私の努力の量がまったく足りなかったのです。今でも、子供たちに「20回書いても覚えられないことなんてありません」と思わず口走ってしまうのはきっとこのときの体験からです。

【覚えの3】

本校の校区には、ご存じの「世界一の自動車部品をつくる」工場があります。また、外務省から「お宅にしかできない」と依頼を受け「アメリカ大統領婦人へのプレゼント用の工芸品」をつくった工場もあるとのこと。他にまねのできないオンリーワンの技術です。これらの工業製品を作る「金型」や「金箔」も百分の一ミリの段差を感じ取れる手先や眼がないとつくれません。これも机上の勉強だけでない腕の「覚え」です。手先が器用で季節感覚も鋭い本校の子供たち。ぜひ、この繊細な「覚え」も受け継いでいってほしいと思います。

さて「覚えて」おいででしょうか、かつて「地球の石油はあと30年もすると掘り尽くされて、大変なことになる」という話が当たり前だったことを。アメリカで油分を含む泥から石油を取り出す「シェールガス」の採掘法が実用化されたため、現在はうんと限界が伸びてあと200年だそうです。本当に、「常識」は未来では常識ではなく、日々作り変えられていくものだと感じます。

賢くなっていく人工知能や2045年という作り話に負けないで、人間の方が優れていることも証明したいもの。数やスピードだけでは図れない「覚え」の力を育てることを意識しながら教育活動を進めたいと思うこの頃です。

ハードルを越えていこう

幼い頃の私は体が弱く、走ることが大の苦手でした。しかし、私が中学校で選んだ部活は何と陸上部。それも短距離のハードルでした。100mはもちろん陸上の花形ですが、ハードル競技は少し勝手が違い、100mが強烈に速くなくても練習次第でタイムが出るのです。それから中、高、大学と10年もこの競技に取り組むことになりました。「もっと速く走りたい」「負けたくない」とそう思い続けることができたので記録も少しずつ上がっていきました。

子供たちも「漢字が書けない」「計算が嫌い」「体育が憂鬱」など、それぞれ苦手なものは違います。でも漢字が嫌いでも「俳句は面白い」とか、計算が嫌いでも「パズルは面白い」など嫌いな物の中に大好きになれるものが隠れていることも多いと思います。また「できるようにになりたい」と顔を上げるか、「やっても伸びない」とうつむくかでその後の伸びがずいぶん違ってくるようにも感じます。毎日コツコツと気楽に、ポジティブに取り組む事が「君がんばってるね」と自分で自分をほめることにもなり、日々成長できるのではないのでしょうか。

学校では、朝活動は冬モード、縄跳びや万葉カルタの練習が始まっています。「新しい跳び方で跳べるようになったよ」「たくさんカルタを取れるようになった」と話す子供の目は輝き、「自分」をうまくほめているように感じます。それは、その日一日の「やる気」につながるのです。

今年も残りわずかとなりました。歳の初めに「〇〇を頑張ろう」と目標を決める子供の姿はとても頼もしいもの。来年もハードルを越えていく子供たちを応援していきたいと思います。



pixiv.jp - 5199374

プチ学校ニュース

登校の集合時間が調整になる班があります

いつも子供たちの安全な登下校にご配慮いただきありがとうございます。さて、児童の学校への到着時間が少しまちまちになってきたことと、冬期間の除雪車の通行に伴い、15日に町別児童会を行い、7:45~7:50に学校着となるよう見直しました。

今より集合が早くなる班はありませんが、約1/3の班が10分程度集合が遅くなります。児童の連絡帳にその結果を貼り付けてありますので、ご確認くださいませようお願いします。



スマホ・携帯安全教室

12月13日、今年も5、6年生の児童を対象に専門の講師をお招きし、スマホ・携帯安全教室を開きました。子供の世界でも写真や住所などの個人情報を安易にネット上に流したり、物の購入などでトラブルに巻き込まれてしまいます。また、持ち物を売って現金化するサイトも目立ってきました。危険を防止するにはご家庭でのルール作り無しには成り立ちません。引き続き、児童の安全にご配慮をお願いします。



ご協力ありがとうございました

今年度の資源回収の収益金から児童のために下記の物品を購入させていただきました。ありがとうございました。

- 読み聞かせ用紙芝居 10セット
- 休み時間用ドッジビー 5セット



